特集

74巻5号

# 自然毒―刺傷・咬傷

## 野外危険生物

5月，初夏を迎え，屋外でのレジャーシーズンとなります．野山や海や川，あるいは公園などでの活動に伴い，動物や昆虫による刺傷や咬傷が発生します．その中には，周知のとおり，毒を持った生物によるものもあり，毎年死者が発生しています．また，近年は日本国内に外来生物が多数生息しており，その中にはセアカコケグモのように毒を持った生物による咬傷が危惧されるものあります．また，野外活動とは関係ありませんが，途上国との貿易の増大やペットブームにより，サソリによる刺傷の事例が報告されています．さらに海外旅行も行き先が多様化するに伴い，マラリアやデング熱といった蚊が原因となる疾病以外に，野外生物の刺傷や咬傷に注意が必要となってきています．

野外生物による刺傷や咬傷は公衆衛生上重大な問題とは言い難い面もありますが，住民がこれらの問題について相談する先は，保健所や市町村です．

そこで，夏に向かって今回，野外生物による刺傷と咬傷を取り上げて，特集を企画しました．特集は自然毒を持った生物による野外での刺傷と咬傷を中心としましたが，毒を持たない生物による咬傷等や屋内での咬傷等についても，近年話題になっているものを取り上げました．

©IGAKU-SHOIN Ltd. 2010

2026/10/09 22:44:24